大館市立総合病院で診察を受けられた皆様へ

研究課題名：弘前大学関連施設の骨粗鬆症骨折および関連疾患の予防と治療における多施設共同研究

研 究 の 目 的

超高齢化社会を迎えた現在、骨粗鬆症が要因の脆弱性骨折が増加傾向にあります。

なかでも大腿骨近位部骨折（太もも付近）と脊椎椎体骨折（背中から腰にかけて）は、生命予後に影響することがわかっています。

本研究は、弘前大学関連施設を始めとした、秋田県と青森県でＦＬＳ*1に取り組む医療機関が症例の情報共有と定期的な協議を行うことによって、骨粗鬆症の治療連携を緊密にして病院連携による継続的な治療介入により、二次骨折予防*2と地域での健康寿命の延伸を図ることを目的としています。

研究実施期間

令和６年９月２７日から令和１１年３月３１日まで

対象となるかた

研究実施期間内に骨粗鬆症性骨折で当院に入院し、ＦＬＳ介入をおこなったかた

※１）ＦＬＳ（骨折リエゾンサービス）：多職種（医師、薬剤師、看護師、理学療法士、管理栄養士など）が連携して骨脆弱性骨折の２次予防のために適切な治療（薬物療法、リハビリテーション、食事療法等）と、評価（定期的な骨密度測定、採血）を行い、必要な治療を継続していくこと。

＊２）二次骨折は、脆弱性骨折を起こしたあとに再骨折が起こる状態。連鎖的な骨折は、寝たきりや要介護状態につながる。

本研究課題について、より詳細な内容を知りたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん、その代理人は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済みの場合は、当該者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	整形外科　横山　　徹 電　話　0186-42-5370　（平日：９時から１７時まで）